

重点14 学習環境の改善

1 校舎の整備状況

ねらい

学校施設は、児童・生徒にとっては生活時間の大部分を過ごす学習・生活の場所であることから、環境整備は心身の健全育成のために重要なことであり、健康的で安全な施設環境の確保に努めています。

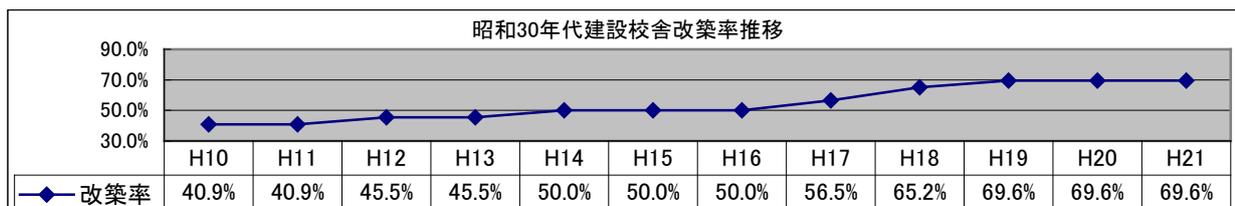
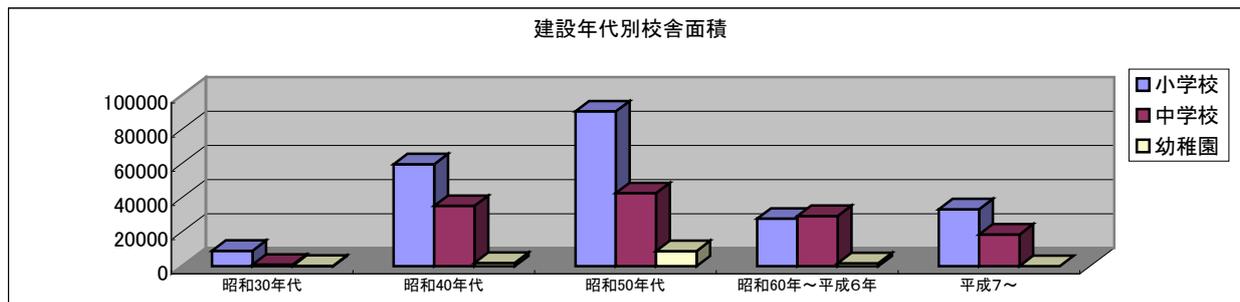
現状と課題

- ・ 学校施設の維持管理を行うとともに、老朽化した昭和30年代建設校舎の改築として河原田小学校の改築設計に着手しました。なお、今後においても残る昭和30年代校舎の改築を進めていく必要があります。
- ・ 建設から30年を経過する校舎が半数を超える中、良好な学習環境の確保が求められています。
- ・ 適切な施設管理を行うため、平成19～21年度にストックマネジメント事業を行いました。

建設年代別面積 (平成21年4月1日現在)

単位：㎡

建設年	小学校		中学校		幼稚園		全体	
	校舎面積	割合	校舎面積	割合	園舎面積	割合	校舎面積	割合
昭和30年代	6,417	2.9%	932	0.7%	304	2.3%	7,653	2.1%
昭和40年代	59,302	26.7%	35,226	27.7%	1,962	15.2%	96,490	26.7%
昭和50年代	90,516	40.8%	42,766	33.7%	8,869	68.5%	142,151	39.3%
昭和60年～平成6年	27,818	12.5%	29,370	23.1%	1,742	13.5%	58,930	16.3%
平成7～	37,738	17.0%	18,722	14.7%	69	0.6%	56,529	15.6%
計	221,791	100.0%	127,016	100.0%	12,946	100.0%	361,753	100.0%



今後の方向性

- スtockマネジメント事業の成果を踏まえ、改築を必要とする昭和30年代建設校舎については改築整備を進めるとともに、学校施設の整備方針をこれまでの事後保全的な考え方から計画的修繕に変え、学校施設の長期にわたる有効活用と長寿命化を図っていきます。